教 授 要 綱 シ ラ バ ス 令和 6 年 3 月 31 日

No. 1

授業科目名	歯科英語	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学文学部非常勤講師 内田 愛
単位	2	単位		
分 類	必 修 選択必修			
学 年	1年 ・ 2年		連絡先	
学 期	前期・後期		建桁元	TEL
曜日•回数	月•金 曜日 15[回 30時間		携帯
時 限	1•2•4 限 9:00~	10:30 10:40~12:10 14:40~16:10		E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科専門用語を英語で理解し、世界に通じる歯科技工士を育てる、また 歯科技工のグローバル化に対応できる技工士を育成する。

授業計画	画・内容 (進度•予定)		備考		
1 回目	合同クラス	又(発音練習、会話練	習など)	プリント使用	内田	2
2 回目	合同クラス	久(発音練習、会話練	習など)	プリント使用	内田	2
3 回目	合同クラス	く(発音練習、会話練	(習など)	プリント使用	内田	2
4 回目	合同クラス	《(発音練習、会話練	(習など)	プリント使用	内田	2
5 回目	合同クラス	く(発音練習、会話練	(習など)	プリント使用	内田	2
6 回目	合同クラス	久(発音練習、会話練	習など)	プリント使用	内田	2
7 回目	合同クラス	《(発音練習、会話練	(習など)	プリント使用	内田	2
8 回目	合同クラス	く(発音練習、会話練	(習など)	プリント使用	内田	2
9 回目	合同クラス	久(発音練習、会話練	習など)	プリント使用	内田	2
1回目	dental ana	atomy word of direction	on	プリント使用	永嶋	2
2回目	dental The	epermanent teeth, de	ciduous	プリント使用	永嶋	2
3回目	dental Too	oth composition		プリント使用	永嶋	2
4回目	dental Ce	ntral incisor, Cuspid		プリント使用	永嶋	2
5回目	dental Fire	st premolar		プリント使用	永嶋	2
6回目	dental Ma	xillary first molar		プリント使用	永嶋	2
評値	評価方法				total	30

中間試験と学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科英語 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス 令和 6 年 3 月 31 日 No.2 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 授業科目名 人間共生学 担当教員 教員 小口 隆 演習 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 単位 2 単位 (必 修)選択必修 分 類 学 年 1年 (2年) 連絡先 前期 (後期) 学 期 TEL 045 - 472 - 5223 曜日•回数 60時間 携帯 月~金 曜日 30 回 時 限 E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp 授業の概要と科目のねらい・到達目標 職業従事者として必要な人と接する姿勢を修得するために、共生学に関する知識、技術および、態度を身に付ける。 授業計画・内容 (進度・予定) 備考 時間 16回 グループに分かれて卒業研究発表を行う。グループ作成 2 各グループに分かれて研究テーマを作成 2 17回 18~20回 各グループに分かれてテーマに対し研究 14 21~23回 論文作成 8 24~25回 研究発表内容のパワーポイント作成 10 26回 研究発表予行練習 16 27~30回 研究発表 8 60 評価方法 total 研究テーマ、論文、口頭試問、発表態度等を勘案し評価を行う。 教科書 各テーマに合った教本を使用 最新歯科技工士教本,最新歯科衛生士教本等 副読本·資料

その他

	į	教 授 🗄	要 綱	シラ	バ		A =-			_	_	
							令和	6 年	3	月;	31 日	No.3
授業科目名	歯科技工概論		講義 実技 演習	担当教員	3	新横泊		衛生士 教員			工士専[二	門学校
単位	2	単	单位		₹	222	-0033	横浜ī	†港	北区新	新横浜2	2-5-8
分 類	必 修 選択必	修										
学 年	〔年· 2年			連絡先								
学 期	前期後	朝		是相儿	TE	L	045	j –	472	-	5223	
曜日・回数	月 曜日	15 回	30時間		携	帯		-		-		
時 限	4限 14	4:40 ~	16:10		E-m	nail	kyoum	uka@ky	ous(eigakı	ıen.ac.jı	2

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科技工学にはどのような科目があるかを知り、学ぶべき内容を知る。歯科技工士の

業務を規定している歯科技工士法を学び、医療技術者としての自覚を高める。医の倫理についても理解を深める。

到達目標:①歯科医療の特異性を説明できる。②歯科技工について説明できる。③歯科疾患と歯科技工について説明できる。

④歯科技工の材料と器具を説明できる。⑤歯科技工のデジタル化について説明できる。

授業計画	内容	(進度・予定)		備考		時間
1回目	第6章	歯科技工で扱う材料・器	具	勝田		2
2回目	第1章	歯科医療と歯科技エ	1	勝田		2
3回目	第1章	歯科医療と歯科技工2,	3, 4	勝田		2
4回目	第2章	歯科技工士の役割 1,	2, 3	勝田		2
5回目	第3章	歯および口腔組織の形	態と機能 1,2	勝田		2
6回目	第3章	歯および口腔組織の形	態と機能 3	勝田		2
7回目	第4章	歯科疾患と歯周組織の	変化 1, 2、3、4	勝田		2
8回目	第4章	歯科疾患と歯周組織の	変化 5, 6, 7, 8、9, 10	勝田		2
9回目	第5章	歯科臨床と歯科技エ	1, 2	勝田		2
10回目	第5章	歯科臨床と歯科技工	3, 5, 6, 7, 8	勝田		2
11回目	第6章	歯科技工の管理と運営	1, 2, 3	勝田		2
12回目	第7章	口腔と全身の健康管理	1, 2, 3, 4	勝田		2
13回目	第7章	口腔と全身の健康管理	5, 6	勝田		2
14回目	第8章	情報リテラシー		勝田		2
15回目	第9章	コミュニケーション		勝田		2
評価	方法	出席状況(2/3以上)	および期末テスト(60%以上)で評価する。	•	total	28

教科書	最新歯科技工士教本 歯科技工士管理学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本•資料	各項目ごとのプリント
その他	次回の講義内容を各自予習して授業に臨むこと

			教持	受 要 綱	シラ	バス	会和 6 年	3 月 31 日			
		1					וואנו	о д ог ц	No.4		
授業和	斗目名	│ │ 歯科技工士	□関係法規	講義 実技 演習	担当教員	新桂		·歯科技工士専門 小口 隆	学校		
単	.位	1		単位		₹ 22	22-0033 横浜市	5港北区新横浜2-	-5-8		
分	類	必修	選択必修								
学	年	1年 ・	2年		本 级						
学	期	前期:	後期		連絡先	TEL	045 -	472 - 5223			
曜日	•回数	月 曜日	8 🛭	16時間		携帯	-	-			
時	限	4 限	14:40	~ 16:10		E−mail	kyoumuka@ky	ouseigakuen.ac.jp			
授業の概要	長と科目のな	らい・到達目標									
※衛生行政	女の概要と歯	前科技工士法を理 解	 昇し、歯科技工:	±免許の位置・	づけを学ぶ。						
								目的、用語について			
3. 圏科技-開設につい	工士免許にいて説明する	ついて説明する。2 。7. 雑則、罰則、	4. 圏科技工士。 附則について記	試験について 説明する。8.	況明する。5 医療法、歯科	. 圏科技」 科医師法、i	- 士業務について 歯科衛生士法との	説明する。6. 歯科)関わりについて説[・技工所の 明する。		
授業計画	- 内容 (進度・予定)					備考		時間		
1 回目	衛生行	政の概要							2		
2 回目	[工士法1							2		
3 回目	[工士法2							2		
4 回目		工士法3							2		
5 回目		工士法4							2		
6 回目	歯科技	工士法5							2		
7 回目		工士法6					2				
8 回目	歯科技法	工士とその他	の衛生法規	見			2				
評価	i方法							total	16		
学期末テス	ストによって	に評価する。									
教和	4書	最新歯科技工士	教本 歯科技	女工管理学 :	全国歯科技	工士教育	協議会編集				
副読本	- 資料	各項目ごとのプ	リント								
70	の他										

______ 教 授 要 綱 シ ラ バ ス 令和 6 年 3 月 31 日

No.5-1

授業科目名	解剖学基礎 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道				
単位	3	単位		〒 22	22-0033 横浜	市港北	区新横浜2-5-8	
分 類	必 修 選択必修							
学 年	1年 2年		連絡先					
学 期	前期・後期		建桁兀	TEL	045 -	472	- 5223	
曜日•回数	月曜日 14 /24 [回 28/48時間		携帯	-		_	
時 限	2 限 10:40	~ 12:10		E-mail	kyoumuka@l	kyouseig	gakuen.ac.jp	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯の生物学的特性 歯の外形と内形 歯の種類と名称と記号 歯の方向と部位 歯の形態と植立様式 永久歯の形態的特徴 歯の組織と歯周組織の構造 歯の発生、発育および交換 歯と歯周組織および顎口腔の加齢現象 歯の数、形態および色の異常 歯列と咬合について学ぶ ※頭蓋骨の構造 顎顔面の 筋の形態的特徴と機能 顎口腔の神経支配 顎関節の構造と機能 口腔と口蓋の構造 唾液腺の存在部位と役割 舌の構造と役割について学ぶ

授業計画	・内容 (進度・予定)		備考		時間
1 回目	歯の定義、機能、特性			••••••	2
2 回目	植立、外形と内形			••••••	2
3 回目	歯の種類と分類、歯の記号と歯:	t .		••••••	2
4 回目	歯の名称、歯の形の概説			••••••	2
5 回目	上顎切歯、下顎切歯、犬歯			••••••	2
6 回目	上顎小臼歯、下顎小臼歯				2
7 回目	上顎大臼歯、下顎大臼歯				2
8 回目	乳歯				2
9 回目	歯の発生、歯の組織、歯周組織				2
10 回目	歯および歯周組織の加齢現象、	歯の異常、歯列、咬合		••••••	2
11 回目	脳頭蓋骨、顔面頭蓋骨				2
12 回目	口腔周囲の筋と神経、顎関節				2
13 回目	口腔の隣接機関、口腔、口蓋、「	垂液腺			2
14 回目	舌、咽頭、喉頭				2
評価	方法			total	28

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 口腔、顎顔面解剖学 全国歯科技工士教育協議会編集	
副読本・資料	各項目ごとのプリント	
その他		

			教 授	要綱	シラ	バス				
							令和 6 年	F3月31	日	No.5-2
				講義		所属・役職名	神奈川歯科	大学 特任	教授	
授業和	4目名	解剖学基礎	ŧΙ	実技演習	担当教員	氏名	ħ	公尾雅斗		
単	i位	3		単位						
分	類	必修	選択必何	修						
学	年	1年 .	2年		連絡先					
学	期	前期・(後 期*		连桁儿	TEL				
曜日	・回数	火 曜日	10 /24 回	20/48時間		携帯				
時	限	2限	10:40~12	2:10] 	E-mail				
		のねらい・到達目標			 -					
歯科技工士になるためには、正常な歯や口腔顎顔面の『かたち』を知ることは必須です。本科目は口腔と顔面を構成する解剖学的構造を知る「口腔の形態と構造」、歯を構成する組織構造を顕微鏡的に知る『歯の硬組織と歯髄』、そして顎運動と神経の運動機能を知る『顎口腔系の機能』の3ユニットから構成されています。これらの基礎的な知識を総合して理解することで歯科技工士として歯科臨床科目に対応できることを目標とします。										
授業計画	•内容 (進度•予定)					備考			時間
1 回目	口腔の形	態と構造(1): 顎顔	ュ 面の骨(1)」	上顎骨と口	蓋骨					2
2 回目	口腔の形	態と構造(2): 顎顔	面の骨(2)7	下顎骨と舌	骨					2
3 回目	口腔の形	態と構造(3):頭頸	部の筋(1)。	且嚼筋						2
4 回目	口腔の形	態と構造(4):頭頸	部の筋(2)き	舌骨上筋と	表情筋					2
5 回目	口腔の形	態と構造(5): 顎関	節と下顎運	動						2
6 回目	口腔の形	態と構造(6):演習	・頭蓋骨モ	デルの観察	察				•••••	2
7 回目	口腔の形	態と構造(7):演習	・頭蓋骨モ	デルの観察	察					2
8 回目	口腔の形	態と構造(8):口腔	内臓と咽頭	į						2
9 回目	歯の硬組	織と歯髄(1):歯と	歯周組織の	組織構造						2
10回目	歯の硬組	織と歯髄(2):歯と	歯周組織の	発生・加齢	朎					2
評価	i方法	本試験(40%)•授業内	习試験(40%)・	∙提出物(20	0%)			t	otal	20
46. 3	Col selle.	最新歯科技工士教;	本 口腔·顎	顔面解剖	学(医歯薬	蛋出版)				
	科 書 	口腔顎顔面解剖学。								
画流4	ו資料									
その他 色鉛筆を用意して下さい										

			教 授	要綱	シラ	バ	ス				
								令和 6	年 3	月 31 日	No.6
授業和	科目名	解剖学區	芯用	講義実技演習	担当教員		新横		E士·歯和 員 小□	斗技工士専門 1 隆	学校
単	单位	1		単位		₹	22	2-0033 横	浜市港は	比区新横浜2-	-5-8
分	類	必修	選択必修								
学	年	1年 · (2年		1						
学	期	前期・	後期		連絡先	自	宅	045 -	472	- 5101	
	·回数	月曜日	8 🗇	16時間	-	携	帯	_		_	
時	限	2 限	10:40 ~	12:10	-	E-i	mail	kyoumuka@	@kyouse	igakuen.ac.jp	
授業の	概要と科目	<u> </u> のねらい・到達目標									
※歯の形	態や特徴、	 歯や顔面の発生、	—┛ 歯の組織、ロ♪	腔内や頭部	₩の骨・筋肉	╕•神:	経など	どについて約	総合的に	応用する。	
 ※学生が	、歯の解剖	ロ腔解剖について	て知り、各内容	まについて タ	分類、説明が	ができ	問題	を読み解く	ことを目	的とする。	
授業計画	·内容 ()							備考			 時間
1 回目					187 - hribb h						2
2 回目		特徴 国家試験出題						<u>. </u>			
3 回目		永久歯の形態 国家					ド・角军言	<u>兑</u>			
4 回目	歯と歯周組	織 国家試験出題基	準に準じたオリ	ジナル問題	[の解答・解記	兑					2
5 回目	歯の発生・	歯列と咬合 国家試験	険出題基準に準	^{生じたオリジラ}	ナル問題の角	罹答•角	解説				2
	頭蓋の骨	国家試験出題基準に	工準じたオリジナ	ル問題の解	¥答・解説						2
6 回目	口腔周囲の)筋 国家試験出題基	生準に準じたオ!	リジナル問題	夏の解答・解	锐					
7 回目	歯と歯周組	織、口腔、国家試験	食出題基準に準	じたオリジラ	トル問題の解	ア答・角	军説				2
8 回目	歯の解剖・	口腔解剖総まとめ 国	国家試験出題基	準に準じた	オリジナル問	題の	解答•	解説			2
								-			
											T
評価	ī方法 ————									total	16
学期末テ	ストによって	評価する。									
教	科書	最新歯科技工士教	数本 口腔・顎	顔面解剖草	学 全国歯	科技二	工士教	数育協議会 総	編集		
副読本	▶∙資料	各項目ごとのプリン	ント								

その他

			教 授	要 綱	シラ	バ	ス	令和 6 4	E 3 F	l 31 日	.		
								ם מוינו	F 0 7.	, от ц	No.7		
授業和	斗目名	歯型彫刻基礎	ŧΙ	講義 実技 演習	担当教員			Swa F	y Dental T川 絋輔	Lab 輔			
———— 単	 位	3		 単位		₹	22	2-0033 横沙	市港北	区新横浜2-	-5-8		
	類	◎ 修・選択	 ?必修										
	<u>~~</u> 年		·····································		لد مشمس								
学	期	ic 期· 便	期		連絡先	自	宅	045 -	472	- 5101	- 5101		
曜日	・回数	火 曜日	45回	90時間		携	帯	_		-			
時	限	3-4限	13:00~14:30	14:40~16:10		E-ı	mail	kyoumuka@	kyouseig	gakuen.ac.jp			
授業の	概要と科目	のねらい・到達目標											
	る。	物を製作できるように	9 072071	C、人派 图 V	ブルぶ及 び	19 1-54		_	PF 03 65 C	7. ISIX C 3			
授業計画	•内容 (<u>·</u>	進度・予定)						備 考			時間		
1~2回	歯型彫刻		用語説明	· デッサン描	記		担当 勝田			4			
3~4回	歯型彫刻		デモ ・周					担当 勝田			4		
5~12回	歯型彫刻	石膏彫刻。	とデッサン(1[回に彫刻12	本、デッサン1ァ	枚)		担当 勝田			16		
13~14回	歯型彫刻			形態説明	・彫刻	•••••		担当 片川			4		
15~45回	歯型彫刻	石膏彫刻。	とデッサン(1[回に彫刻12	本、デッサン1ァ	枚)	••••••	担当 勝田			62		
						•••••							
								•			•••••		
					••••••								
								-					
					••••••••••	••••••							
					••••••	•••••		-					
					•••••			-					
					•	•••••							
					•••••			-					
評価	 i方法									total	90		
		」 ・ステップごとの提出	物を総合的	内に判断し	評価する。								
		•出席状況、授業態度	度を総括的)評価に加り	未する。								
教科	<u></u>												
副読才		資料およびレジュメな	どは必要	に応じて配	 .付								
70	 の他												

			教 授	要綱	シラ	バ	ス	令和 6 年	3 月	31 日	No.8
授業和	科目名	歯型彫刻基础	楚Ⅱ	講義実技演習	担当教員		新横	浜歯科衛生士 教員	··歯科 小口		
 単	 [[] 位	1		 単位		₹	22	2-0033 横浜	市港北	区新横浜2-	-5-8
———— 分	 類	必 	 R必修		-						
	年	1年 · ②	年	F							
	期	道期· 像	期		連絡先	自	宅	045 -	472	- 5101	
曜日	·回数	火 曜日	15回	30時間		携	帯	_		-	
時	限	3•4時限	13:00~14:3	0 14:40~16:10		E-r	mail	kyoumuka@k	youseig	akuen.ac.jp	
授業の	概要と科目	<u> </u>									
授業計画	ける。	· 华	Ι					備考			n±88
	歯型彫刻	進度・予定)	± =°±\						時間		
1~11回	图型彫刻 		石膏彫刻とデッサン(1回に彫刻1 形態説明・彫刻					担当			22 4
12.13回	图型彫刻 索型彫刻			i・liv &ij)使い方等を	.1年17节明	 I		担当 小口			4
14.15回	国空 心列		川シタリノ」ひ。	一度い刀 守る	「十八元明			변크 까디			4
										1	1
評価	i方法									total	30
		・ステップごとの提出									
		・出席状況、授業態原			味する。						
- س	6.1 and 1.	・学期末テストによっ									
	科書 	・本校オリジナルの写			1/4						
副読名	卜•資料	資料およびレジュメな	よどは必要	とに応じて配	3付						
\	の他										

			教 授	要綱	シラ	バス	令和	6 年 3	月 31	日	No.9
授業和	4目名	顎口腔機能学	基礎	講義実技演習	担当教員			鶴見大学歯 福島 俊			
単	i位	1		単位							
分	類	必修·選	択必修								
学	年	1年 ・ 2	2年								
学	期	前期・後	数		連絡先						
曜日	・回数	木 曜日	10 回	20時間	1						
時	限	4 限	14:40~	16:10							
授業の	概要と科目	のねらい・到達目標			•						
*	顎口腔系	の構成要素ごとにそれ	_ れぞれの機	態能を学習し	.、咬合器を	通じてそ	れらを実	現する製作	手順を	修得	する。
*	歯列∙顎関	目節・筋肉・神経によっ	って構成され	れる顎口腔	系の機能を	説明でき	る。				
授業計画	•内容 (進度•予定)					備考				時間
1 回目	顎口腔	系の形態(1):歯	- ヒ歯列・1	骨∙筋							
2 回目		系の形態(2):顎			径						
3 回目							小テス	ト (1)			
4 回目	下顎位										
5 回目	下顎運!	動(1)下顎の基本	運動								
6 回目	下顎運!	動(2)下顎の限界	└運動・機	能運動							
7 回目	歯の接続	触様式(咬頭嵌台	合位)			小テスト(2)					
8 回目	歯の接続	触様式(偏心咬合	<u>}位)</u>								
9 回目	咬合器	:機構と分類・フェ	イスホ゛ウトラ	ンスファー・	咬合採得] 于	小テスト(3)				
10 回目	咬合検	査と顎機能障害									

-	i方法 ストによって	┃ C評価する、小テスト、	提出物も記	含める					t	otal	2
教	<u></u> 料書	最新歯科技工士教	本 顎口腔	機能学 全	国歯科技工	 C士教育協	協議会編	 集			
副読才	► •資料	各項目ごとのプリント	-								
~ (か他										

教授要綱 シラバス

令和 6 年 3 月 31 日 No.10

授業科目名	顎口腔機能学 応用	講義実技演習	担当教員	鶴見大学歯学部 福島 俊士 新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
単位	1	単位		〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年 ・ 2年		連絡先	
学 期	前期・後期		足帽儿	TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	月•木 曜日 8 回	16時間		携帯
時 限	2 限 10	:40~12:10		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※顎の動きや顎の動きに調和した噛み合わせの様々な様式、技工物製作に使用する咬合器について深く理解し、分類するために総合的に実施する。 ※学生が各項目について説明することができ、使用器具を正しく選択、取り扱いが行うことができる。

授業計画	・内容 (進度・予定)		備考		時間
1 回目	顎口腔系の形態・機能		オリジナル編集問題の解	答▪解説	2
2 回目	歯の接触様式・咬合器		オリジナル編集問題の解	答▪解説	2
3 回目	歯と歯列・顎口腔系を構成する骨・	顎口腔系に関係する筋・神経支配	オリジナル編集問題の解	答▪解説	2
4 回目			オリジナル編集問題の解	答▪解説	2
5 回目	下顎位 下顎の基本運動 ̄	下顎の限界運動	オリジナル編集問題の解	答▪解説	2
6 回目	咬合器の使用目的 機構と分類	フェイスボウトランスファー 咬合採得	オリジナル編集問題の解	答▪解説	2
7 回目	国家試験対策①				2
8回目	国家試験対策②				2

評価	方法			total	16

学期末テストによって評価する。小テスト、提出物も含める

教科書	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本•資料	各項目ごとのプリント
その他	

			教持	受要綱	シラ	バ	 ス			
								6 年 3 月	31 日	No.11
授業和	斗目名	顎口腔機能学	実践	講義 実技 演習	担当教員	¥	新横浜歯科 律	が生士・歯科 教員 小口		門学校
単	位	1		単位		Ŧ	222-0033	横浜市港北	区新横浜2	-5-8
分	類	❷ ・選抜	尺必修							
学	年	1年 · 🙋	年		· 本 4 7 4					
学	期	ff 期 · 後	期		連絡先	TE	L 045	- 472	- 5223	
曜日	•回数	火~金 曜日	15回	30時間]	携	帯	_	_	
時	限	1~4時限		30 10:40~12:10 :30 14:40~16:10]	E-m	ail kyoumul	ka@kyousei	gakuen.ac.jp	
授業の	概要と科目	のねらい 到達目標								
授業計画	•内容 ((進度・予定)								時間
1~4回 口腔内を印象から模型調整までを行い作業模型の製作法を習得する					 得する	担当 小	·П		8	
5~8回 顎の運動を確認、習得してチェックバイトを製作する						担当 小	\		8	
9~10回	顔弓を構	造、使用法を習得して	フェイスホ゛ウ	トランスファーか	できるよう	こする	担当 小	\ □		4
11~14回	上顎なら	びに下顎の模型を咬合	器に正	しく装着でき	るようにする		担当小	\		8
15回目	顆路角の	調整と切歯路角の調	整が出来	るようにする	3		担当小	\ □		2

評価	 i方法								total	30
	., -,	」 ・ステップごとの提出	物を総合	かに判断し	評価する。					
		•出席状況、授業態原								
教	料書	・本校オリジナルの事	ミ習書を配	配布する。						
副読本	▼資料	資料およびレジュメな	どは必要	要に応じて酢	已付					
*	の他									

教授要綱 シラバス 令和6年3月31日 No.12

授業科目名	歯科理工学 基礎 1	選養 実技 演習	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	2	単位	│ 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必修・選択必修		
学 年	1年・2年	連絡先	
学 期	前期・後期	连桁元	TEL 045 - 472 - 5223
曜日•回数	火 曜日 15 回	30時間	携 帯
時 限	1限 9:00~	10:30	E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※歯科医療で使用される高分子材料、セラミック材料、複合材料の基礎知識と製作過程を学ぶ。
- ※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画	・内容 (進度・予定)		備考		時間
1 回目	歯科技工と歯科理工学	講義ガイダンス			2
2 回目	物質の構造、機械的性質	近に試験法			2
3 回目	歯科材料の性質			*******************	2
4 回目	印象材 ハイドロコロイド	系			2
5 回目	印象材 ラバー系、 非別	単性、模型材との関係		*******************	2
6 回目	模型材 石膏の種類		*******************	2	
7 回目	石膏の一般的性質			2	
8 回目	原型 ワックス			*******************	2
9 回目	レジン 加熱、常温重合の	の組成			2
10回目	加熱重合レジン製作				2
11回目	常温重合レジン、一般的	性質、その他の成形法			2
12回目	義歯床関連材料、硬質レ	ジン			2
13回目	陶材焼成				2
14回目	陶材の性質			2	
15回目	焼付用陶材 オールセラ			2	
評価	方法			total	30

学期末試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本•資料	各項目ごとのプリント
その他	

	孝	女 授 要 綱	シラ	
				令和 6 年 3 月 31 日 No.13
授業科目名	歯科理工学 基礎	2 実技演習	担当教員	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	2	単位		〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必修・選択必	修		
学 年	1年・ 2年		連絡先	
学 期	前期·後其	D	连桁九	TEL 045 - 472 - 5223
曜日∙回数	火 曜日 1	5 回 30時間		携 帯
時 限	1・2 限	9:00~10:30 10:40~12:10		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※歯科医療で使用される金属材料の基礎知識と製作過程で使用される器具機材について学ぶ。
- ※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画	·内容 ()	進度・予定)		備考		時間
1 回目	主な歯科	斗用金属 歯科月	用合金			2
2 回目	貴金属征	合金				2
3 回目	非貴金	禹合金				2
4 回目	歯科用金	金属まとめ		 		2
5 回目	鋳造理語	篇 埋没材		 		2
6 回目	石膏系、	非石膏系埋没村	オ	 		2
7 回目	埋没、力	<u> </u>		 		2
8 回目	鋳造操作	乍		 		2
9 回目	鋳造機の	の種類、鋳造体の	り処理	 		2
10回目	鋳造欠四	值		 		2
11回目	金属の	加工、接合		 		2
12回目	合金の勢	熟処理 その他の	歯科材料	 		2
13回目	補綴物の	の仕上げ 機械研	奢、化学研磨	 		2
14回目	補綴物の	の仕上げ 器具、	幾械	 		2
15回目	補綴物の	の安定性 歯科技	工の安全性			2
評価	方法				total	30

学期末試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本•資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱シラバス 令和 6 年 3 月 31 日 No.14 講義 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 授業科目名 歯科理工学応用 担当教員 実技 教員 永嶋 正道 演習 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 単位 2 単位 必修·選択必修 分 類 学 年 1年 · **2**年 連絡先 学 期 前期· 後期 TEL 045 - 472 - 5223 曜日•回数 携帯 月 曜日 15 回 30時間 時 限 3 限 13:00 ~ 14:40 E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp 授業の概要と科目のねらい・到達目標 ※歯科理工学基礎1,2で修得した知識を基に歯科医療で使用される各材料、器具機材の応用知識と製作方法を学ぶ。 ※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画	·内容 (進度·予定)		備考		時間		
1 回目	東京都問題の検証と解説、歯科材料の性質	,印象採得編			2		
2 回目	東京都問題の検証と解説、模型材(石膏)	原形(ワックス)編			2		
3 回目	東京都問題の検証と解説、レジン成形、セ	ラミック成形編			2		
4 回目	東京都問題の検証と解説、合金、埋没材編				2		
5 回目	東京都問題の検証と解説、鋳造、加工、接	合、熱処理、仕上げ編			2		
6 回目	1 埼玉問題の検証と解説				2		
7 回目	2 埼玉問題の検証と解説				2		
8 回目	1 千葉問題の検証と解説				2		
9 回目	2 千葉問題の検証と解説				2		
10 回目	1 北海道問題の検証と解説				2		
11回目	2 北海道問題の検証と解説				2		
12回目	1 大阪問題の検証と解説				2		
13回目	2 大阪問題の検証と解説				2		
14~15回	1、2 宮城問題の検証と解説	、2 宮城問題の検証と解説 4					
評価	方法			total	30		

学期末試験、卒業試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本∙資料	各項目ごとのプリント
その他	

			払	垣	声 紹	シラ	バフ				
			狄	12 :	女 柳		<i>/</i> / /	令和 6 年	三 3 月	31 日	No.15
					講義		±c+#	工 造 到海井-	ᆫᆂᆉ	++	<u> </u>
授業和	4目名	歯科理工学乳	官習		実技 演習	担当教員			永嶋	正道	
単	位	1		単	单位		〒 22:	2-0033 横浜	市港北	区新横浜2	-5-8
分	類	必 	尺必修								
学	年	年 · 2	2年			連絡先					
学	期	道期・後	期			产品儿	TEL	045 -	472	- 5223	
曜日	・回数	火~金 曜日	15回	3	0時間		携帯	-		-	
時	限	1時限~4時限まで			0:40~12:10 :40~16:10		E-mail	kyoumuka@k	kyouseig	gakuen.ac.jp	<u>!</u>
授業の	概要と科目	のねらい・到達目標									
歯科材料	の基礎的な	よ製作過程と歯科技コ	に用し	る使	用機器、	機材の扱い	・方と特性:	を実習をとお	して理角	解する	
授業計画	- 内容 (備考			時間
1~8回	石膏の操	作練習		 そ	5膏材料	の操作を習	得する	担当 永嶋			16
9~12回	ワックスの)操作練習		7	フックス木	材料の操作を	を習得する	担当 永嶋			8
13~15回	レジンの排	 操作練習		L	/ジン材料	料の操作を	習得する	担当 永嶋			6
					•••••						
					•••••						
					•••••						
					•••••						
					•••••						
				•••••							
評価	i方法									total	30
		• •ステップごとの提出	物を総	合的	こ判断し	評価する。					
		·出席状況、授業態/	度を総打	括的評	呼価に加い	味する。					
教和	斗書										
副読本	▼資料	資料およびレジュメケ	よどは必	必要に	応じて配	2付					
	の他										_

教授要綱シラバス 令和 6 年 3 月 31 日 No.16 講義 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 授業科目名 歯科理工学実験 実技 担当教員 教員 永嶋 正道 演習 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 単位 単位 必 修・選択必修 分 類 **年** 2年 学 年 連絡先 学 期 前期・愛期 TEL 045 - 472 - 5223 曜日·回数 火 曜日 携帯 8回 32時間 3•4限 時 限 13:00~14:30 14:40~16:10 E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp 授業の概要と科目のねらい・到達目標 歯科技工材料の基礎知識と実験機器、機材の扱い方と特性を実験を通して理解する。 授業計画・内容 (進度・予定) 備考 1 回目 石膏の硬化膨張 担当 永嶋 2 回目 埋没材の熱膨張 担当 永嶋 担当 永嶋 3 回目 金属の加工硬化 4 回目 ワックスの性質 担当 永嶋 5 回目 担当 永嶋 レジンの重合 担当 永嶋 6 回目 印象材の硬化時間 7 回目 鋳造体の適合性 担当 永嶋 8回目 陶材の焼成 担当 永嶋 評価方法 32 実験データをレポートにまとめ提出 教科書 副読本 資料 資料およびレジュメなどは必要に応じて配付

その他

教 授 要 綱 シ ラ バ ス 令和 6 年 3 月 31 日 No.17-1

授業科目名	有床義歯技工学 (全部床義歯)	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学 歯学部 石川 千恵子 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美
単位	2	単位		〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必 修 選択必修			
学 年	1年 · 2年		連絡先	
学 期	前期・後期		建桁元	TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	月曜日 15 /30 [回 30/60時間		携 帯
時 限	3 限 13:00	~ 14:30		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- Ж 全部床義歯製作の順序を理解する。
- Ж 全部床義歯製作のための技工操作を修得する。

授業計画	·内容 ()	進度・予定)		備考		時間		
1 回目	全部床	養歯技工学概説と	上製作順序			2		
2 回目	形態的•	機能的基礎知識	Ì	2				
3 回目	審美的	基礎知識 全部	床義歯の特性			2		
4 回目	印象採行	得・解剖学的ランド			2			
5 回目	精密印象	象と作業模型・作			2			
6 回目	咬合床の	の製作			2			
7 回目	咬合器•	・咬合器装着と調			2			
8 回目	人工歯の	の種類と選択				2		
9 回目	排列•歯	肉形成				2		
10回目	埋没の前	前準備と埋没				2		
11回目	流蝋·義	歯床用レジンの	重合			2		
12回目	咬合器	の再装着				2		
13回目	人工歯の	の削合				2		
14回目	復習					2		
15回目	研磨•修	理・リベースとリラ			2			
評価	方法				total	30		

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本•資料	各項目ごとのプリント
その他	教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有

教 授 要 綱 シラバス

令和 6 年 3 月 31 日 No.17-2

授業科目名	有床義歯技工学 (部分床義歯)	講義実技演習	担当教員	鶴見大学歯学部歯科補綴学 鶴見大学歯学部有床義歯 新保秀仁 新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 三又真奈美
単位	2	単位		〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年		連絡先	
学 期	前期・後期		圧幅ル	TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	月曜日 15/30回:	30/60時間		携 带
時 限	2 限 10:40 ~	12:10		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※部分床義歯の構成要素、設計、製作方法を学ぶ
- ※部分欠損の障害、治療計画を学ぶ

授業計画	•内容 (進度・予定)			備考		時間
1 回目	部分床	養歯の特性、製作	F順序、構成要素				2
2 回目	部分床	養歯の特性、義歯	南の分類				2
3 回目	印象採	导、咬合採得					2
4 回目	クラスプ	の製作、サベイン	/グ				2
5 回目	支台装置	置					2
6 回目	連結子、	義歯床、人工歯	-				2
7 回目	バーの舞	製作、排列から完	成				2
8 回目	欠損に。	よる分類方法					2
9 回目	印象採得	导					2
10回目	咬合採行	得、咬合器装着					2
11回目	クラスプ	の製作					2
12回目	部分床	養歯の構成要素					2
13回目	排列、重	<u>合、研磨完成</u>					2
14回目	オーバーデンチャー、金属床義歯						2
15回目	ノンクラン	スプデンチャー、	ジルコニアフレーム	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			2
評価方法						total	30

評価方法 total

学期末テストおよび小テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本•資料	各項目ごとのプリント
その他	教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有

教 授 要 綱 シ ラ バ ス 令和 6 年 3 月 31 日 **No**.18

授業科目名	有床義歯技工学 応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
単位	2	単位		│ 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年 ・ 2年		連絡先	
学 期	前期・後期		建附元	TEL 045 - 472 - 5223
曜日•回数	木 曜日 15 [回 30時間		携 帯
時 限	1•2限 9:00∼10	0:30 10:40~12:10		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

全部床義歯並びに部分床義歯を製作できるようにするために、義歯に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画	·内容 (進度·予定)		備 考		時間
1 回目	有床義歯技工学概説、全部	床義歯の製作	教科書 P.3~47		2
2 回目	全部床義歯の製作、咬合器	装着から義歯の研磨	教科書P.48~102		2
3 回目	部分床義歯の構成要素と各	分類、支台装置の種類	教科書P.104~146		2
4 回目	部分床義歯の連結装置、義	歯床、人工歯、	教科書P.147~157		2
5 回目	部分床義歯の製作		教科書P.158~230		2
6 回目	義歯修理、リベース、オーバ	ーデンチャー、金属床、その他の有床義	教科書P.231~273		2
7 回目	有床基礎知識の国家試験出	題基準に準じたオリジナル問題の解答	•解説		2
8 回目	全部床の国家試験出題基準	に準じたオリジナル問題の解答・解説			2
9 回目	全部床の国家試験出題基準	に準じたオリジナル問題の解答・解説			2
10回目	部分床の国家試験出題基準	に準じたオリジナル問題の解答・解説			2
11回目	部分床の国家試験出題基準	に準じたオリジナル問題の解答・解説			2
12回目	修理等の国家試験出題基準	に準じたオリジナル問題の解答・解説			2
13回目	過去の国家試験問題を利用	した問題の解答・解説			2
14回目	過去の国家試験問題を利用	した問題の解答・解説			2
15回目	国試対策、全部床義歯の問	題の傾向と対策			2
評価	方法			total	30

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス 令和6年3月31日 No.19-1

授業科目名	有床義歯技工学基礎実習 (全部床) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有
単位	3 単位		〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	◎ ● ・選択必修		
学 年	1年 · 2年	連絡先	
学 期	りませる。	连桁九	TEL 045 - 472 - 5223
曜日•回数	月~金曜日 45回 90時間		携 带
時 限	1時限~4時限まで 9:00~10:30 10:40~12:10 13:00~14:30 14:40~16:10		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

無歯顎患者に対する治療の流れに沿った実習を行い、全部床義歯の製作方法を習得する。

授業計画	・内容 (進度・予定)		備考		時間
1~3回	咬合床の製作	基礎床の成型	担当 三又		6
4~5回	咬合床の製作	咬合提の成型	担当 三又		4
6~10回	全部床義歯の製作	製作法を習得する	担当 三又		10
11~12回	全部床義歯の製作	咬合器装着	担当 三又		4
13~19回	全部床義歯の製作	蝋義歯製作·人工歯排列	担当 三又		14
20~24回	全部床義歯の製作	蝋義歯製作·歯肉形成	担当 三又		10
25~32回	全部床義歯の製作	床材料の置換	担当 三又		16
33~38回	全部床義歯の製作	咬合調整	担当 三又		12
38~45回	全部床義歯の製作	研磨·完成	担当 三又		14
評価	方法		•	total	90

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本•資料	•最新歯科技工士教本 有床義歯技工学
その他	

教授要綱シラバス 令和5年3月31日 *基礎実習 講義 宝技 演習 担当教員 演習 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門 教員 永嶋 正道

No.19-2

授業科目名	有床義歯技工学基礎実習 ((部分床)	講義 実技 担当教員 演習	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
単位	2 単	.位	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	◎ ・選択必修		
学 年	年 ・2年	連絡先	
学 期	前期・愛期	建和九	TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	月~金 曜日 30回 60)時間	携 帯
時 限	1時限~4時限まで 9:00~10:30 10:4 13:00~14:30 14:4		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

部分床義歯の製作を通して、模型の調査方法や維持装置の製作方法を習得する。

授業計画	•内容 (進度・予定)		備考		時間
1~2 回	部分床義歯の製作	設計	担当 永嶋		4
3~6回	部分床義歯の製作	模型調査	担当 永嶋		8
7~11回	部分床義歯の製作	維持装置の製作	担当 永嶋		10
12~14回	部分床義歯の製作	蝋義歯製作·人工歯排列	担当 永嶋		6
15~17回	部分床義歯の製作	蝋義歯製作·歯肉形成	担当 永嶋		6
18~27回	部分床義歯の製作	 床材料の置換	担当 永嶋		20
28~30回	部分床義歯の製作	研磨·完成	担当 永嶋		6
評価	方法			total	60

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本•資料	•最新歯科技工士教本 有床義歯技工学
その他	

教 授 要 綱 シラバス

令和 6 年 3 月 31 日 No.20

授業科目名	歯冠修復技工学 基础	講義 実技 演習	担当教員	新	山本歯科 横浜歯科	衛生士・歯科	山本 鉄雄 科技工士専門等 員 勝田 崇仁	
単位	3	単位		₹ 22	22-0033	横浜市港	北区新横浜2-	-5-8
分 類	必修・選択必修	多						
学 年	1年 2年		連絡先					
学 期	前期・後期		连桁九	TEL	045	- 472	- 5223	
曜日∙回数	月曜日 25	5 回 50時間		携帯		-	-	
時 限	1限 9:0	0 ~ 10:30		E-mail	kyoumu	ka@kyouse	eigakuen.ac.jp	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※歯冠修復治療の手順と補綴物の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。
- ※機器と材料の特徴を理解し、機能的および形態的に残存歯牙と調和の取れた補綴物を製作するための基礎的なことを学ぶ」。

授業計画·	内容 (進度・予定)	備 考 時間	
1 回目	1歯冠修復技工学の概要 2クラウンの概要と種類		2
2 回目	4クラウンとブリッジの具備要件6歯冠修復物と部分被覆冠 7全部被覆冠		2
3 回目	4クラウンとブリッジの具備要件3 ブリッジの概要と種類		2
4 回目	8ブリッジ		2
5 回目	5 クラウンとブリッジの製作(1臨床ステップの概要 3研究用模型スタディ	モデル)	2
6 回目	5 クラウンとブリッジの製作(4印象用トレー 5支台築造)		2
7 回目	5 クラウンとブリッジの製作(6テンポラリークラウン・ブリッジ 7色調選択)		2
8 回目	5 クラウンとブリッジの製作(8作業用模型 9咬合器装着)		2
9 回目	5 クラウンとブリッジの製作(10クラウンに与える咬合 11ワックスアップ)		2
10回目	5 クラウンとブリッジの製作(12埋没 13鋳造作業 14 連結法)		2
11回目	5 クラウンとブリッジの製作(15調整 16研磨 17試適・仮着・合着)		2
12回目	5 クラウンとブリッジの製作(18レジン前装冠 19陶材の築盛・焼盛 20/	フラウンの不具合の原因)	2
			-4 88

評価方法

中間試験および学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本•資料	各項目ごとのプリント
その他	

			教	授	要綱	ショ	,バ	ス							
									令和	5 -	年 3	月	31	日	No.23
授業科目名		歯冠修復技	工学 基础	楚	講義実技演習	担当教員	l l	新	山本菌 横浜歯		士・歯	科技	」本 á エ士専 第田 第	見門学	竺校
13回目	5 クラウン	⁄とブリッジの製作	(1臨床ス	、テッフ	♂の概要	3研究用模	型スタ	'ディ	モデル)					2
14回目	5 クラウン	⁄とブリッジの製作	(3研究月	模型	スタディモ	デル 4年	象用ト	レー)						2
15回目	5 クラウン	⁄とブリッジの製作	(4印象用	トレー	- 5支台第	築造)									2
16 回目	5 クラウン	⁄とブリッジの製作	(6テンポ	ラリー	クラウン・コ	ブリッジ 7	色調選	択)							2
17 回目	5 クラウン	⁄とブリッジの製作	(8作業月	模型	9咬合器	影装着)									2
18 回目	5 クラウン	⁄とブリッジの製作	(10クラウ	フンに!	与える咬合	11 ワック	フスアッ	プ)							2
19 回目	5 クラウン	⁄とブリッジの製作	(12埋没	13鋳		14 連結	法)								2
20 回目	5 クラウン	⁄とブリッジの製作	(15調整	16研	肝磨 17詢	ぱ適・仮着・	合着)								2
21 回目	5 クラウン	⁄とブリッジの製作	(18レジ)	/前装	冠 19陶	材の築盛	焼盛	202	クラウン	の不身	具合の	原因)		2
22 回目	6 歯冠修	復物と部分被覆	冠 7全部	被覆流	冠(レジン	前装冠 🏻	材焼作	寸金属	属冠)						2
23 回目	7 全部被	覆冠(ジャケット/	クラウン)	8 ブリ	Jッジ										2
24 回目	8 ブリッシ	^ジ 9 インプラント													2
25 回目	9 インプ [:]	ラント 10 CAD/	CAMシス	テム											2
													tota	al	50
評価	評価方法														
中間試験	 および学期	- 末テストによって	評価する	0											
教	料書	最新歯科技工士	教本 歯	冠修復	复技工学	全国歯科	技工士	教育	協議会	≩編集	Ę				

副読本・資料

その他

各項目ごとのプリント

			教 授	要綱	シラ	バス			
							令和 6 年 3 月	引 31 日	No.21
授業和	科目名	歯冠修復技工学	: 応用	講義 実技 演習	担当教員	新横	浜歯科衛生士・歯科 教員 永嶋		学校
単	位	1		単位		〒 22	2-0033 横浜市港は	L区新横浜2-	-5–8
分	類	必修・選抜	尺必修						
学	年	1年 ・ 2	2年		連絡先				
学	期	前期・後	期		连桁 儿	TEL	045 - 472	- 5223	
曜日	•回数	月 曜日	10 回	20時間		携帯	-	_	
時	限	1限	9:00 ~	10:30		E-mail	kyoumuka@kyouse	gakuen.ac.jp	
授業の	概要と科目	のねらい・到達目標							
に付ける。		民工義歯を製作できる	よりに 9 を I	5/20/IC, L	一座内での位	変形以 ひか			
	·内容 (T	進度·予定) 					備考		時間
1 回目	トレー・印	象材~							2
2 回目	作業模型	トリミング~							2
3 回目	プロビジョ	ナル・レストレーション							2
4 回目	蝋形成•坦	里没•鋳造							2
5 回目	インレー・	クラウン~							2
6~7回	レジン前輩	支冠関係~							4
8~9回	ポーセレン	/関係~							4
10回目	鑞付け・フ	ラックス~							2
		Г							
	i方法							total	20
提出作品	および中間	テストと学期末テスト	によって言	平価する。					
教	科書	最新歯科技工士教本	歯冠修	復技工学	全国歯科技	支工士教育	協議会編集		
副読本	卜·資料	各項目ごとのプリント							
70	の他								

教授要綱シラバス 令和 6 年 3 月 31 日 No.22 講義 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 授業科目名 歯冠修復技工学基礎実習 実技 担当教員 教員 勝田 崇仁 演習 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 単位 単位 1 必 修・選択必修 分 類 学 年 1年· 2年 連絡先 学 期 ff 期·後期 TEL 045 - 472 - 5223 曜日•回数 火~金 曜日 23回 携帯 46時間 9:00~10:30 10:40~12:10 13:00~14:30 14:40~16:10 1時限~4時限 時 限 E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac,jp 授業の概要と科目のねらい・到達目標 各種の歯冠修復及び架工義歯に関する基礎的な器材の取り扱いについて修得する。 歯冠修復における治療の流れを理解し、技工作業を行う。 **世 老**

授業計画	•内容 (進度・予定)		備者	-		時間
1~2回	インレーの	D製作	蝋原型製作	担当	勝田		4
3~5回	インレーの) 製作	埋没∙鋳造∙研磨∙完成	担当	勝田		6
6~10回	クラウンの)製作	模型製作	担当	勝田		10
11~16回	クラウンの)製作	蝋原型製作	担当	勝田		12
17~18回	クラウンの)製作	埋没∙鋳造	担当	勝田		4
19~23回	クラウンの)製作	研磨·完成	担当	勝田		10
評価	<u> </u> i方法			<u> </u>		total	46
		」 ・ステップごとの提出 [。]	物を総合的に判断し評価する。				<u> </u>
		·出席状況、授業態度	度を総括的評価に加味する。				
教科書・本校オリジナルの		本校オリジナルの実					
副読本	▼資料	•最新歯科技工士教	本 歯冠修復技工学				
7 0	その他						

教 授 要 綱 シラバス

令和 6 年 3 月 31 日 No.23

授業科目名	歯冠修復技工学応用実習 🤇	講義 主技 東習 担当教員	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
単位	5 単位	立	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必 ●・選択必修		
学 年	年 2年	連絡先	
学 期	前期・優期	建和元	TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	月~木 曜日 75回 150	時間	携 带
時 限	1時限~4時限まで 9:00~10:30 10:40-		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

教科書

副読本 資料

その他

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

•本校オリジナルの実習書を配布する。

•最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学

授業計画	・内容 (進度・予定)		備考	E	寺間	
1~2回	レジン前装冠の製作	模型製作	担当 勝田		4	
3~5回	レジン前装冠の製作	蝋原型製作	担当 勝田		6	
6~10回	レジン前装冠の製作	窓開け	担当 勝田		10	
11~14回	レジン前装冠の製作	埋没·鋳造	担当 勝田		8	
15~19回	レジン前装冠の製作	前装部形態修整	担当 勝田		10	
20~23回	レジン前装冠の製作	歯冠色レジンの築盛	担当 勝田		8	
24~27回	レジン前装冠の製作	レジン部形態修整	担当 勝田		8	
27~28回	レジン前装冠の製作	研磨·完成	担当 勝田		4	
29~34回	ブリッジの製作	模型製作	担当 勝田		12	
35~44回	ブリッジの製作	蝋原型製作	担当 勝田		20	
45 ~ 52回	ブリッジの製作	埋没∙鋳造	担当 勝田		16	
53~56回	ブリッジの製作	メタル調整・レジン築盛	担当 勝田		8	
57~62回	ブリッジの製作	レジン部形態修整	担当 勝田		12	
63~69回	ブリッジの製作	研磨·完成	担当 勝田		14	
70~75回	クラウンの反復練習	蝋原型製作の習得	担当 勝田		10	
評価	方法		<u> </u>	total	150	
	 ・ステップごとの提出:	物を総合的に判断し評価する。				

教授要綱シラバス 令和 6 年 3 月 31 日 No.24 講義 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 授業科目名 歯冠修復先進技工 実技 担当教員 教員 勝田 崇仁 演習 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 単位 単位 2 必 修 ・選択必修 分 類 1年 · ②年) 学 年 連絡先 学 期 1 期・後期 045 - 472 - 5223 TEL 曜日·回数 携帯 金 曜日 30回 60時間 時 限 1•2時限 9:00~10:30 10:40~12:10 E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp 授業の概要と科目のねらい・到達目標 Ж 新しく開発された歯冠修復の技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。 授業計画・内容 (進度・予定) 備考 時間 担当 勝田 1~5回 CAD/CAMの構成 説明、模型製作 10 6~10回 CAD/CAMを使用したモデルスキャン、デリ調整~シンタリング 担当 勝田 20 11~23回 CAD/CAMを使用したセラミックワーク フレーム調整、築盛 担当 勝田 16 24~30回 CAD/CAMを使用したセラミックワーク② ステイニング、グレージング 担当 勝田 14 評価方法 60 total ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・学期末テストによって評価する。 教科書 ・本校オリジナルの実習書を配布する。 副読本 資料 資料およびレジュメなどは必要に応じて配付

その他

教授要綱シラバス

令和 6 年 3 月 31 日 No.25

授業科目名	小児歯科技工学	基礎	講義 実技 技演習	担当教員	神	申奈川歯科	西	村	ŧ	特任教授
単位	1	単位	立		〒 2	222-0033	横浜ī	市港北	区新植	黃浜2−5−8
分 類	必修・選択	必修								
学 年	1年 ・ 22	年		連絡先						
学 期	前期・後	期		连桁儿	TEL	045	-	472	- 52	223
曜日・回数	木 曜日	8 🗓 1	16時間		携帯	ļ	-		-	
時 限	1 限	9:00 ~ 10:	: 30		E-mai	l kyoumu	ıka@ky	youseig	gakuen	.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

顎・顔面、歯列、歯などから構成される総合的咀嚼器官の正常な育成のために、小児歯科

医療は成長発達期のものを対象として顎口腔領域の疾患や異常の予防と治療を行い、健康の維持増進を図っている。小児歯科技工学 においては、正常な育成を阻害する疾患や異常に対して、機能回復、予防をはかる修復物や装置を製作することが意義として挙げられて いる。そのためには小児の特性および生理的変化をよく理解して、それが技工物に反映できることが重要である。

授業計画·	・内容 (進度・予定)		備考		
1 回目	小児歯科技工学の概説、成	- 長発育段階、全身の成長発育	教科書 P.1~9		2
2 回目	成長発育と年齢、小児の年齢	冷評価、顎・顔面の成長発育	教科書 P.9~14		2
3 回目	歯の萌出時期(乳歯・永々	久歯)、乳歯の形態的特徴	教科書P.15~21		2
4 回目	歯列の発育変化①		教科書P.18~29		2
5 回目	歯列の発育変化②		教科書P.29~33		2
6 回目	小児の齲蝕、小児の歯冠	迁修復	教科書P.34~37、プリ	ノント	2
7 回目	保隙装置(固定保隙装置	1、可轍保隙装置)、口腔習癖	教科書P.38~60		2
8 回目	スペースリゲーナー、口腔習		教科書P.61~80		2
	維持装置				
評価	方法			total	16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

				教	授	要	綱	シラ	バ	ス					
											令和	6 年	F 3 ,	月 31 日	No.26
授業和	科目名	小児歯科	技工学	⋭応用		講演	技	担当教員	教員	員 三 歯科	三又 真 技工所	[奈美 勤務約	経験 7		
単	位		1			単位			₹	222	2-0033	横浜	市港	化区新横浜2	-5-8
分	類	必修	・選択	マシー	5]							
学	年	1年	· (2	年)			連絡先							
学	期	前 期	· 後	期)			建桁元	TE	L	045	· –	472	- 5223	
曜日	•回数	月・木 曜日	B	8	回	168	诗間		携	帯		-		-	
時	限	4 限		14:4	0 ~	16:1	0		E-m	ail	kyoumi	uka@k	kyouse	igakuen.ac.jp	2
授業の	概要と科目	のねらい・到達	目標												
※小児の成長発育、乳歯の特徴、小児の歯冠修復、口腔誘導に関わる装置について理解を深める。 ※1. 小児の成長発育について説明できる。2. 小児の年齢評価について説明できる。3. 乳歯の特徴および歯の萌出順序について説明できる。4. 乳歯列の特徴について説明できる。 5. 混合歯列期の特徴について説明できる。6. 小児の歯冠修復について説明できる。7. 咬合誘導装置について説明できる。8. 咬合誘導装置に関する各種維持装置について説明できる。															
授業計画	- 内容 (進度・予定)									備考				時間
1 回目	小児の	龙長発育													2
2 回目	小児の	年齢評価													2
3 回目	乳歯の	持徴、乳歯·	永久	歯の	萌出	出順月	茅								2
4 回目	乳歯列	期の特徴													2
5 回目	混合歯	列期の特徴	· ·												2
6 回目	小児の	歯冠修復													2
7 回目	咬合誘	導装置													2
8 回目	咬合誘	導装置に関	する名	予種	維持	装置	L 								2
=a: /m		1												1	T
	i方法													total	16
字期末で	ストによって	て評価する。													
教	科書	最新歯科技工	士教本	小.	児歯	—— 科技工	学	全国歯科技	大士	教育	協議会	編集			
副読本	▶∙資料	各項目ごとの	プリント												
70	の他									_					

			教授	受 要 綱	シラ	バス	令和 6 年 3 月	31 日	No.27
				講義					INU.Z /
授業和	4目名	小児歯科技工学 	學実習	実技	担当教員	新横	浜歯科衛生士・歯科 教員 小口		学校
単	.位	1		単位		₹ 22	2-0033 横浜市港北	区新横浜2-	·5–8
分	類	❷ ● 選択	で必修						
学	年	1年 · 🙋	年		 宙 放				
学	期	前期・優	期		連絡先	TEL	045 - 472	- 5223	
曜日	•回数	月~木 曜日	15回	30時間		携帯	-	-	
時	限	1~4時限	9:00~10: 13:00~14:	30 10:40~12:10 :30 14:40~16:10		E-mail	kyoumuka@kyouseig	akuen.ac <u>.jp</u>	
授業の	概要と科目の	のねらい・到達目標							
*	小児の補着	綴物を製作できるよう! 	こするため	めに、乳箘の	特徴と成長	発育に関う		、態度を身に	こ付ける。
授業計画	•内容 (進度•予定)					備 考		時間
1~9回	可徹性保	隙装置 製作 		補綴物の	説明·製作	ができる	担当 小口		18
10~15回	固定性保	隙装置 製作 		補綴物の	説明·製作	ができる	担当 小口		12
■ ■	 i方法							total	30
BT IIII	<i> </i>	 ・ステップごとの提出	物た総合	・657年半月曜日 1	証価する			total	
		・出席状況、授業態度							
	<u></u>	本校オリジナルの実	ミ習書を	 配布する。					
	- 資料	資料およびレジュメな			 .付				
70	 D他								

		教 授	要綱	シラ	バス						
						令和 6	年 3 月	31 日	No.28		
授業科目名	矯正歯科技工学	学基礎	講義実技演習	担当教員		9	野田歯科医 野田 晃詞				
単位	1		単位								
分 類	必修・選抜	尺必修									
学 年	1年 ・ 2	2年		連絡先							
学 期	前期・後	:期		24470							
曜日・回数	木 曜日	8回	16時間								
時 限	3 限	13:00 ~	14:30								
授業の概要と科目	のねらい・到達目標										
	D基礎や治療のメカニ 対応した矯正装置を適					習得する	0				
次日程中正改日に入	」心のに制止衣 巨と地	1931CH111F	CC 07(1)	CH1%, 7 0	0						
授業計画・内容 (備考			時間		
1回目 矯正歯	科技工学概論	4							2		
	合と不正咬合								2		
l ₋	矯正治療の進め方と矯正装置の選択										
4 = -	具、器材								2		
5回目 矯正装	置の種類・分類								2		
6回目 矯正治	寮(矯正装置の使	用法)							2		
7回目 矯正線	の屈曲法(実習)						***********		2		
8回目 自在鑞	付け(実習)								2		
	т							1	T		
評価方法	J							total	16		
小テスト、提出物、学 	対末テストによって評	呼価する。									
 教科書	最新歯科技工士教本	矯正歯	科技工学	全国歯科技	支工士教育	協議会編	· 集				
副読本∙資料	各項目ごとのプリント										
その他											

				教	授	要	綱	シラ	バ	ス					
											令和 6	5 年	3 F	引 31 日	No.29
授業和	科目名	矯正歯科	技工学	⋭応用		講	支	担当教員	教員	員 <u>3</u> 歯科	三又 真系 技工所勤	奈美 肋務経	験を		
単	位		1			単位			₹	222	2-0033	横浜市	市港圳	比区新横浜2	-5-8
分	類	必修	• 選拼	マシー	Ş										
学	年	1年	. (2	年)			連絡先							
学	期	前 期	· 後	期)			连桁儿	TEI	L	045	-	472	- 5223	
曜日	•回数	月・木 曜	Β	8	回	168	時間		携:	帯		-		-	
時	限	4 限		14:4	0 ~	16:1	0		E-m	ail	kyoumuk	ka@ky	/ousei	gakuen.ac.jp	<u>)</u>
授業の	概要と科目	のねらい・到達	目標												
※矯正治	療の目的や	や不正咬合の物	寺徴、矯	正の	メカニ	ズムヤ	や各	種矯正装置	につい	いてヨ	理解を深	める。			
※1. 正常咬合	合について説明で	できる。2. 不正咬合に	ついて説	明できる	。3. 矯	正歯科技	エの割	器具の取り扱いに	こついて説	も明で:	きる。4. 線屈	曲の方	法と自在	E鑞付けについて	説明できる。
5. 矯正用口腔	模型の種類と違い	いについて説明できる。	6. 矯正力や	b固定源	による矯	正装置の	分類が	べきる。7. 動的知	喬正装置の	目的と	と製作を説明で	ごきる。8 .	. 静的矯.	正装置の目的と製	作を説明できる。
授業計画	· 内容 (進度·予定)									備考				時間
1 回目	正常咬														2
2 回目	不正咬						•••••								2
3 回目		 科技工用器	:具と器		 、材;	料	•••••								2
4 回目		工の基本的		iihii.	AJ	·····			••••••						2
5 回目		口腔模型													2
6 回目		置の分類	••••••		•							•			2
7 回目		正装置の目	的と集	以作	•							•			2
8 回目	静的矯	正装置の目	的と集	以作											2

評価	ī方法													total	16
学期末テ	ストによって	て評価する。													
教	———— 科書	最新歯科技工	士教本	5 矯.	正歯	科技工	.学	全国歯科技	大工士	教育	協議会線	編集			
副読本	▶・資料	各項目ごとの	プリント												
₹(の他														

			教 授	要綱	シラ	バス			
							令和 6 年 3 月	31 日	No.30
授業和	科目名	 矯正歯科技工学	学実習	講義 実技 演習	担当教員	新樹	浜歯科衛生士・歯科 教員 小口		学校
単	位	1		単位		〒 22	2-0033 横浜市港北	区新横浜2-	5-8
分	類	€ ●・選択	7必修						
学	年	1年 · 🙋	年		*				
学	期	動 ・後	期		連絡先	TEL	045 - 472	- 5223	
曜日	・回数	月~木 曜日	15回	30時間		携帯	-	_	
時	限	1~4時限		0 10:40~12:10 30 14:40~16:10		E-mail	kyoumuka@kyouseig	;akuen.ac.jp	
授業の	概要と科目	のねらい・到達目標							
*	付ける。	治療の補綴物を製作でき	きるようにす	「るために、矯	を正のメカニ に	ズムと各種		析および、態/ 	度を身に
授業計画	·内容 (進度・予定)					備 考		時間
1~6回	矯正装置	製作		補綴物の	説明·製作	ができる	担当 小口		12
7~12回	保定装置	製作			説明·製作	ができる	担当 小口		12
13~15回	平面屈曲			屈曲を習行	导する		担当 小口		6
	 ī方法							total	30
μι μ		┃ ・ステップごとの提出	物を総合	的に判断し	評価する。			totai	
		・出席状況、授業態別							
教	———— 科書	本校オリジナルの実	と習書を酉	 己布する。					
副読本	 ▶ •資料	資料およびレジュメな	よどは必要	要に応じて配	.付				
~	 の他								

			教 授	要綱	シラ	バス	令和 6 年 3	月 31 日	No.31
授業科	目名	先進技工実	習 I	講義実技	担当教員	教員 :	歯科衛生士・歯科抗 三又 真奈美 技工所勤務経験 ?		· 校
単位	<u>立</u>	2		単位		〒 22	2-0033 横浜市港	比区新横浜2−	5-8
分	 類	必 修 ・選	 択必修		1				
	 年		 2年						
学:	———— 期	前 	類		連絡先	TEL	045 - 472	- 5223	
曜日・	 回数	月~金 曜日	30回	60時間		携帯	-	_	
時	 限	1~4時限		0 10:40~12:10 80 14:40~16:10		E-mail	kyoumuka@kyouse	igakuen.ac.jp	
* *		のねらい・到達目標 された技術や材料を	」 使いこなも	さる様になる	ために、そ	の製作方	法を学び理論と技術	うを習得する 写	実習を行
授業計画・	内容 (進度・予定)					備考		時間
1~11回(CAD/CAM	/練習		CADの操作	作を習得す	る	担当 三又		22
12~30回	CAD/CAN	//練習		CADのデ	ザインを習行	导する	担当 三又		38
 	5法	・ステップごとの提出	:物を総合(的に判断し言	平価する。			total	60
		・出席状況、授業態・学期末テストによっ			まする。				
教科	書	・本校オリジナルの	実習書を配	布する。					
副読本	資料	資料およびレジュメ	などは必要	に応じて配	付				

その他

教 授 要 綱 シラバス

令和 6 年 3 月 31 日 No.32

授業科目名	先進技工実習 I	講義 実技 選習	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有
単位	3	単位	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必 修・選択必修		
学 年	1年 ・ 2年	連絡先	
学 期	前野・後期	建 桁刀	TEL 045 - 472 - 5223
曜日•回数	月~金曜日 68回	136時間	携 带
時 限		10:40~12:10 0 14:40~16:10	E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

Ж 新しく開発された技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行 う。

授業計画・	内容	(進度·予定)		備考			 時間
		一ド製作	 製作法を習得する	担当			22
		 ード 製作		担当			50
37~58回			相手の事を理解する実習	担当			44
59~63回				担当			10
		x00万桁 工補綴物の習得実習		担当			4
							4
66~67回	彫刻特別	授業 	歯の形態を理解し習得する	担当	片川 		4
68回	架工補級	扱物の習得実習	架工補綴物の製作を習得する	担当	菅野		2
	•						
	•••••						
							
	••••••						
							
評価	方法					total	136
		- ・ステップごとの提出!	物を総合的に判断し評価する。				•
		•出席状況、授業態度	度を総括的評価に加味する。				
		・学期末テストによっ	て評価する。				
教和	書	本校オリジナルの実	ミ習書を配布する。 				
副読本	• 資料	資料およびレジュメな	どは必要に応じて配付				
₹0)他						

教 授 要 綱 シラバス

令和 6 年 3 月 31 日 No.33

授業科目名	先進技工実習Ⅱ	講義 実技 担	旦当教員	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
単位	4	単位		〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類	必 修・選択必修			
学 年	1年 ・ 2年	,	連絡先	
学 期	前期・後期		建附几	TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	月~金 曜日 90回	180時間		携 带
時 限		:30 10:40~12:10 :30 14:40~16:10		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

Ж 新しく開発された技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行 う。

授業計画	内容 (進度・予定)		備考	1	時間
1~4回	TEC 製作		TECの知識と製作法を習得する	担当 小口		8
5~31回	CAD/CAN	//練習	CADのデザインを習得する	担当 三又		54
32~34回	Wax Up練	習	歯の形態、機能を習得する	担当 三又		6
35~53回	陶材焼付	冠の製作	製作法を習得する	担当 小口		38
54~90回	コハ゛ルトクロム	部分床義歯製作	製作法を習得する	担当 小口		74
評価	 i方法				total	180
		• ・ステップごとの提出物	を総合的に判断し評価する。			
		•出席状況、授業態度を	を総括的評価に加味する。			
		・学期末テストによって	評価する。			
教	斗書	・本校オリジナルの実習	ョニュー			
副読本	下資料	資料およびレジュメなど	ば必要に応じて配付			
70	の他					

教授要綱シラバス ^{令和6年3月31日} No.34

授業科目名	総合歯科実習 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士·歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
単位	3	単位		〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分 類				
学 年	年 ・2年		連絡先	
学 期	11期・後期		建耐兀	TEL 045 - 472 - 5223
曜日•回数	月~金 曜日 60回	120時間		携 帯
時 限		30 10:40~12:10 30 14:40~16:10		E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

模型製作の方法と制限時間内に石膏模型を製作する技術を習得する。

部分床義歯の石膏埋没方法の習得と完成にに至るまでの過程技術の習得

授業計画	•内容	(進度・予定)		備者	Ť		時間
1~6回	模型製作	乍	練習用模型製作	担当	勝田		12
9~15回	クラウン	の反復練習	蝋原型製作の習得	担当	勝田		18
16~21回	合同実習	[편]	他業種連携における知識の習得	担当	勝田		12
22~41回	全部床郭	奏 歯反復練習	前歯排列までを習得	担当	勝田		40
42~50回	定期試馬	 使受験用模型製作	前期校内試験用の模型製作	担当	勝田		18
51~60回	ワイヤー	-屈曲実習	屈曲の基礎を習得する	担当	勝田		20
評価	方法					total	120
		 ・ステップごとの提出・	物を総合的に判断し評価する。			<u> </u>	•
		•出席状況、授業態度	ぎを総括的評価に加味する。				
教和	斗書	・本校オリジナルの実	管習書を配布する。				
副読本	▼資料	•最新歯科技工士教	本 有床義歯技工学·歯冠修復技工学				
₹0	の他						

教授要綱シラバス 令和 6 年 3 月 31 日 No.35 講義 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 総合歯科実習 Ⅱ 授業科目名 実技 担当教員 教員 永嶋 正道 演習 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 単位 5 単位 必 修・選択必修 分 類 学 年 (年)· 2年 連絡先 学 期 前期 • 後期 TEL 045 - 472 - 5223 曜日•回数 月~金 曜日 100回 200時間 携帯

E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac,jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

1時限~4時限まで

時 限

人工歯排列や線屈曲、歯冠修復補綴物の反復練習により、基礎的手技の向上を目指す。

9:00~10:30 10:40~12:10 13:00~14:30 14:40~16:10

授業計画	•内容	(進度・予定)		備考		時間
1~12回	模型製	作	練習用模型製作	担当 永嶋		24
13~32回	ブリッジ.	、前装冠、クラウン ワック	スアップ ブリッジ、前装冠、クラウン反復練習	担当 永嶋		40
33~62回	全部床	義歯反復練習	前歯排列までを習得	担当 永嶋		60
63 ~ 72回	定期試	験受験用模型製作	前期校内試験用の模型製作	担当 永嶋		20
73~90回	ワイヤ-	一屈曲実習	屈曲の基礎を習得する	担当 永嶋		36
91~100回	マウスフ	ガード 製作	製作法を習得する	担当 三又		20
評価	i方法				total	200
		 ・ステップごとの提出	物を総合的に判断し評価する。		•	
		•出席状況、授業態度	度を総括的評価に加味する。			
教和	4書	・本校オリジナルの実	実習書を配布する。			
副読本	▼•資料	•最新歯科技工士教	本 有床義歯技工学·歯冠修復技工学			
₹0	の他					

教授要綱シラバス 令和 6 年 3 月 31 日 No.36 講義 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 授業科目名 実技 担当教員 総合歯科実習Ⅲ 教員 三又 真奈美 ※歯科技工所勤務経験 有 演習 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 単位 3 単位 必 修 · 選択必修 分 類 学 年 1年 · ②年) 連絡先 学 期 前期・後期 TEL 045 -472 - 5223 曜日•回数 月~金 曜日 68回 136時間 携帯 9:00~10:30 10:40~12:10 13:00~14:30 14:40~16:10 時 限 1~4時限 E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画	•内容	(進度・予定)		備考	<u> </u>	ŀ	時間			
1~22回	実習使	用模型製作	臨床的模型での製作法の習得	担当	三又		44			
23~39回	全部床	義歯実習	蝋義歯完成までを習得	担当	三又		34			
40~58回	全部床	義歯実習	患者を想定した製作法を習得	担当	三又		58			
							·			
評価	方法			•		total	136			
		 ・ステップごとの提出	物を総合的に判断し評価する。							
		·出席状況、授業態度	度を総括的評価に加味する。							
		・学期末テストによっ	って評価する。							
教和	4書	・本校オリジナルの実	 €習書を配布する。							
副読本	*資料	資料およびレジュメな	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付							
70	の他									

教授要綱シラバス 令和 6 年 3 月 31 日 $N_{0.37}$ 講義 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 授業科目名 実技 担当教員 総合歯科実習Ⅳ 教員 小口 隆 演習 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 単位 3 単位 必 修 · 選択必修 分 類 学 年 1年 · ②年) 連絡先 学 期 後 期 前期・ TEL 045 -472 - 5223 曜日•回数 月~金 曜日 68回 136時間 携帯 9:00~10:30 10:40~12:10 13:00~14:30 14:40~16:10 1~4時限 時 限 E-mail kyoumuka@kyouseigakuen.ac,jp 授業の概要と科目のねらい・到達目標 Ж 歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画	内容	(進度・予定)				備考	<u>.</u>			時間
1~8 回	全部床	義歯実習		蝋義歯完成までな	音習得	担当	小口	•••••	••••••	16
9~13回	義歯の	 名前入れ		災害時等の義歯紛	失を防止できる	担当	小口	•		10
14~68回	歯科技	工士に必要な能力の反	復練習	歯型彫刻・屈曲・デ	ッサンを習得	担当	小口			110
	••••••									
	•••••									
							•••••			
								••••••		
評価	方法							to	otal	136
		─ ・ステップごとの提出	物を総合的	内に判断し評価する	5 .			<u>L</u>		
		•出席状況、授業態原	度を総括的]評価に加味する。						
		・学期末テストによっ	て評価す	る。						
教和	斗書	・本校オリジナルの多	『習書を配	布する。						
副読本	▼資料	資料およびレジュメな	どは必要	に応じて配付						
₹0	D他									